



音羽中学校  
学校だより

# OTOSEMI 音翡翠

令和7年11月28日(金)  
第42号



## 委員会活動

11月20日(木)に委員会活動が行われました。学年にどんな呼びかけをしていくのか、集会活動の内容は何かよいかなどと話し合い活動をしたり、本の選書や入れ替え、花壇の手入れをしたりなど、活動はさまざまです。「音羽中学校が住みやすい学校になるように」という同じ目標の下に活動し、音中生徒の笑顔を増やすことにつながっています。春に何色のチューリップの花が咲くのか、楽しみにしています。

—略—

—略—

## 宮路山タイム

—略—

11月21日(金) —略—

皆さんには、「好きなこと」や「がんばりたいこと」がありますか？時にはそのことで、人と競い合ったり、比べたりすることもあるかもしれません。でも、人と比べて自分は……ということではなく、「好きなこと」や「がんばりたいこと」があると素敵なこと、それが無い人は、これから見つかる何かが無限にあるということです。好きなこと・がんばりたいことを通して、自分の大事なことも、周りが大事にしていることも、両方とも尊重して「笑顔で楽しい」学校生活にしていきましょう。

# 生徒集会

- 1 始めのことば
- 2 生徒会役員からの発表
- 3 キュパティーノ使節団 体験報告
- 4 表彰披露
- 5 終わりの言葉

キュパティーノ使節団の体験報告では、3名の生徒が心に残ったことを話しました。

中島さんは、「日本と米国の学校では、多くの違いがありました。この違いは、どんな考え方からきているのか、メールで尋ねたり、調べたりしました。違いはありますが、生徒の成長を願っていることは、日米とも同じだとわかりました。」と述べました。

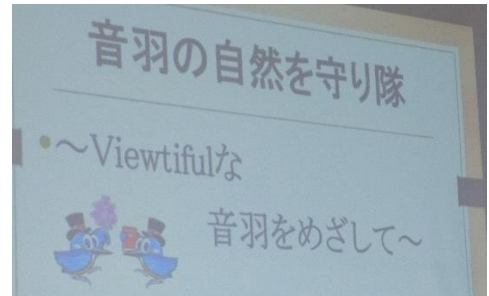


伊藤さんは、「衣食住の文化の違いについて、見つけたり感じたりしたことから、これからはもっと多様な文化を受け入れていきたい。」と述べました。

寛さんは、「日本と米国との違いを感じながら『よい一日を』と声をかけてくれる人がいることに気づきました。日本の文化が大切にされていることも感じました。ご縁を大切にしていきたいです。」と述べました。

3人とも使節団の体験を通して、肌で感じ、見聞きしたことから、新しい価値を見つけたり、考え方を身につけたりしたことがわかりました。この経験や見方考え方感じ方を、これからの生活に生かして行ってほしいと願います。

11月26日(水)に生徒集会を行いました。生徒会役員からは、12月に行う奉仕活動について発表がありました。スローガン「音羽の自然を守り隊 ～Viewtifulな音羽をめざして～」に込められた意味や、昨年度の取組について、生徒の感想が伝えられました。師走の1日。学校や地域に1年間の感謝の気持ちを込めて活動し、気持ちのよい環境にして、新しい年を迎えるようにしましょう。



「税の標語」の表彰披露

おめでとうございます

東三河間税会長賞

校内を巡っていたら、2年生の手洗い場をA先生が掃除し、磨いている場面に出会いました。B主任に聞くと「A先生は、いつもいろいろなところを磨いてくれていますよ。」と教えてくれました。生徒の学校生活をさりげなく支えている先生方、ありがとうございます。



## 豊川保護区 保護司さんの学校訪問

11月21日(金)に4名の保護司さんが来校され、授業の様子を見られたり、校長室で懇談したりしました。「気持ちのよい挨拶をしてくれる生徒がたくさんいます。」「集中して学習に取り組んでいますね。」というお言葉をいただきました。地域から多くの方が応援してくださっています。